

2月に入って少し暖かくなり、もう春が来ているのかな…とほんわかしたのも束の間、まだまだ冬の冷たい風が吹き、雪も積もっている山形です。

大人は「また雪かー・・・」ですが、子どもたちは毎日ウェアを着て「今日八雪デ何シテアソブ?」と雪の中へ出かけていきます。自分たちで“かまくら”を作り、小さいかまくらの中に子ども達がギュウギュウに入りながらも顔を見合わせて「エへへへ」って笑い合っている姿も。外は寒くても心がつなればポカポカ気分のようにです。

そんな雪の山形に1月29日(土) 山形集会保問研イベントと

西川由紀子先生をお招きして

講演会を開きました。

「かみつきをなくすために」のテーマのもと県内、県外から200人の人が集まり、西川先生の京都弁での笑いあり、そして深くうなづき考えさせられるお話の中でのあっという間の2時間の講演会でした。来ていただいた方のアンケートの感想に沢山の思いが寄せられていたので紹介しますね。



かみつきの背景には子ども一人ひとりの心の成長があること、そこから成長につながる事を改めて感じました。

西川先生
大好きになりました
というファンも

保護者同士の架け橋としてあらためて自分の役割の大切さを感じました。

人と人とのつながりの大事さを改めて感じました。

などなど、そのほか沢山の“聞いてよかった!!”の声が皆さんから寄せられました。この皆さんの声が実行委員として大きな励みになったし、皆で学び合うこのつながりの輪をさらに広げて6月の全国保問研につなげていきたいです!! やっぱりみんなで学び合うっていいですね!

西川先生は山形=寒いという事で、万全の準備で厚着をしてきたというのに、出迎えた地元実行委員はやけに薄着だった事にガクッときたそうな・・・(笑)

どんな理由でかみついているのか、どんな気持ちであそんでいるのかなと一人ひとりの気持ちをもっと受け入れたいと思いました。また子どもたちに会うのが楽しみです。

西川先生と夜のお食事会もしました。

山形庄内名物

かんだらじる
“寒鱈汁”

に舌つつみをうちながら保育の話、子育ての悩みでまた話が盛り上がったよ。

